

## 校長室だより「伸びゆく梢」

文責 柴田町立船迫中学校 校長 三浦 道子

明日から8月25日まで夏休みとなります。夏休みをどのように過ごすかで、9月からの生活が変わってきます。部活動や開放している学校を有効活用し、心も身体も成長できる夏休みにしてください。夏休みを充実させるヒントを紹介します。

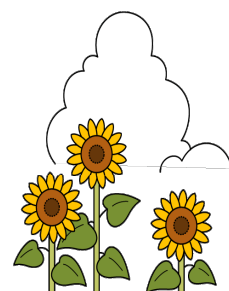
### その1 勉強は計画と時間確保が大切！学習会の有効活用を！

柴田町教育委員会主催の「夏休み学習室」と学校独自の「夏休み自習室」を有効に活用してください。9:00~16:00まで図書室を開放している期間は16日間あります。1人で自宅で勉強するのもいいのですが、勉強は環境が大切。支援員の先生もいますし、静かでエアコンが効いた場所で、受験勉強や宿題をやったほうが進むはず。カフェや図書館で勉強する若者が増えています。自宅だとだらだらしてしまうので、ほどよく他人が居る環境の方が集中力は高まるというのが理由だそうです。夏休み後半に宿題や課題に追われるという体験をしないためにも図書室開放を有効に活用してください。

急な参加も可能ですので、友達を誘って参加するのもいいでしょう。また、先生方も夏休みは出勤していますので、分からないことは積極的に質問するのもいいでしょう。

### その2 体力向上。自分を鍛える夏に！

夏休み中は、食事や時間が不規則になりがちですが、これから新人戦や各学年の大切な行事や迫中祭もあります。楽しい思い出をつくるためにも、大人になって社会に出て働くためにも、**早寝、早起き、三度のご飯と運動**を実践していきましょう。



### その3 読書は最低2冊以上！（できれば新聞も読む）

読書の有効性は、読解力の向上や知識の習得、心の成長等、挙げればたくさんありますが、私はなんと言っても**創造力**が育まれると堅く信じています。

ゲームやテレビばかりの世界では創造力が育ちません。創造力が育たないと人の幸せや痛みや悲しみを理解できない人間になってしまいます。私たちはとても狭い人間関係の中の小さな世界に住んでいます。本の世界に触れ、本の中の人々に出会い、広い世界を知ることは、感性豊かな10代に必要なことです。また、新聞を読んだり、ニュースを見る習慣をつけましょう。



### その4 家族としての役割(お手伝い)

中学生はもう**家族の一員として役割**があるべきと考えています。特に夏休みは時間もたくさんあります。家族の一員として働くことは、家族に対する感謝の行動でもあり、これから生きていくために必要な力です。これから一人暮らしを経験することもあるでしょうし、新しく家族を築くこともあります。そんな時、家事ができるという事は**生活を豊か**にします。

まずは、自分の部屋の掃除、あるいは机の上を整え、料理の一品二品は作って家族を喜ばせてみてはいかがでしょうか。



### その5 自分の命も、他者の命も大切

8月6日は水難事故撲滅の日です。なぜ、そのような日が制定されたかは、みなさんの記憶にも新しいはず。保健だよりでもお知らせしたように、川は危険が潜んでいて、子どもだけで遊ばないことが基本となります。中学生は危険を察知する学習もしていますので、川に限らず、危険を回避し、**自分の命も他者の命も大切**にする行動をとってください。



— 有意義な夏休みをお過ごしください。 —